

II 学校経営方針

<教育理念>

国の基盤である教育の重大さを全職員が自覚して、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成に全力で取り組む。

また、郷土の誇る「五倫饗」の精神や人類愛の精神を受け継ぎ、郷土を愛し、将来を担うにふさわしい生きる力の育成に努める。

1 学校教育目標

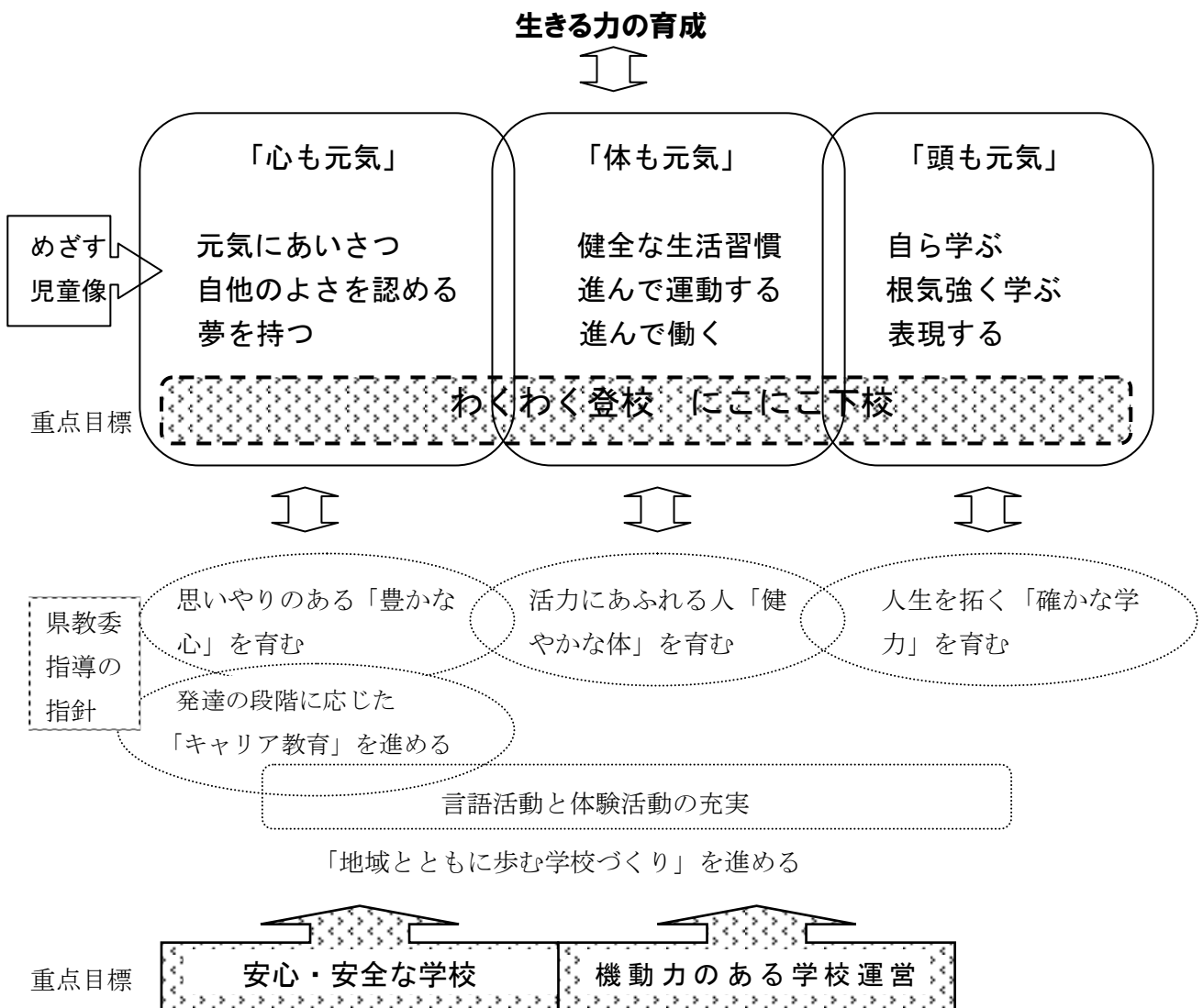
「みんな 大好き 御宿小」
— 心も体も頭も元気 —

2 重点目標

- みんなが大好きな学校づくり
 - ・「わくわく登校にここにこ下校」
 - ・家庭・地域との連携・協力
- 安全・安心な学校づくり
- 機動力のある学校運営

3 具体化の方策

(1) めざす児童像



(2) 主な具体化の方策

(注：◎は今年度、重点とする方策)

「みんなが大好きな学校」のために

- ・「みんな」とは、児童、保護者、教職員、地域の方等学校に関わるすべての人を指す。

児童：学校が居心地の良い大好きな場所

保護者：学校は子どもを信頼してすべてを任せられる場所

教職員：児童の成長のために全力で取り組める場所

地域の方：「おらが学校」として愛する学校

「めざすべき児童像」のために

① 「心も元気」のために

◎児童一人一人のよさを生かす場面を計画的に設定し、自他のよさに気付かせる指導を推進する。

◎児童相互、児童と教職員との絆作りに努め、児童にとって居場所のある学校・学級づくりをする。

○社会のために尽くした人の生き方を道徳や教科等の教材として取り上げ、自ら社会のために行動しようとする意欲を育てる。また、郷土や日本のよさを知り、誇りをもてるようにする。

○「さわやかあいさつ運動」を継続して実施する。

○いじめ防止基本方針にもとづいて、いじめ防止に計画的、継続的に取り組む。

○県で作成した映像教材の活用を図るなど『『いのち』のつながりと輝き』を主題にした道徳教育を積極的に実践するとともに、命を大切にするキャンペーンに継続的に取り組む。

○職場見学やロボット教室など、キャリア教育を通して将来への夢を持てるように努める。

○学校間連携を推進する。

- ・布施小学校との合同学習の実施
- ・中学校との交流学习
- ・町保育所との交流
- ・町内特別支援学級間の合同学習

○道徳教育の一環として、動物愛護教室を関係機関との連携で実施する。

○教育相談週間を設けて児童一人一人の声に耳を傾ける。

○ボランティア活動を推進する。

○「ぼうぼうあたま」紙芝居など地域の伝統や文化を体験する活動を推進する。

② 「体も元気」のために

◎「遊友スポーツランキングちば」に挑戦する。

◎「早寝・早起き・朝ごはん」を励行し、習慣化を促す。

○「体育ミニマムカード」を活用して児童一人一人に応じた体力向上の指導と評価に努める。

※「体育ミニマムカード」～御宿小学校を卒業するまでに少なくとも児童全員に身に付けさせたい運動能力を抽出したもので、児童個々の評価と記録用カード

○ロング昼休みを週1回継続的に実施し、自発的な外遊びを促す。

○なぎさマラソン大会、磯観察など地域環境を生かした体験活動を充実する。

○育てて、収穫して、調理して、食べる体験を計画的に実践する。また、地域の食文化や和食のよさに触れる活動をとおして食育の推進を図る。

○おいしい給食を主として、栄養教諭を中心に食の大切さをいろいろな場面で指導する。

○食物アレルギー対応マニュアルに即した対応を進める。

○むし歯予防・治療を推進する。

○うがい、手洗いなどの習慣化、日常化を図る。

○進んで掃除する態度の習慣化を図る。(昼休みの無言清掃)

③ 「頭も元気」のために

◎少人数指導加配や非常勤講師、学習サポーター、特別支援教育支援員などを活用して児童一人一人に応じたきめ細やかな指導を推進する。

◎自学自習の習慣化を図る。その一環として家庭学習(学年×10分)を奨励する。

◎読み聞かせや全校朝読書、2,000ページ読書など読書活動計画をもとに読書指導を推進する。

- ◎国語の校内研修を進めることにより、授業力の向上を目指すとともに児童の学力向上を図る。
- 「国語がんばりカード」と「算数がんばりカード」を活用して児童一人一人に応じた学力向上の指導と評価に努める。
 - ※「国語がんばりカード」～国語科各学年の基礎基本を抽出した、個々の評価と記録用カード
 - ※「算数がんばりカード」～算数科各学年の基礎基本を抽出した、個々の評価と記録用カード
- 地域の伝統や文化、自然などの素材を教材化する取り組みを継続して進める。これまでの研修の成果を指導計画に位置づけて活用を図る。
- 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。
- 地域人材を活用した学習を推進する。
- 調べて、まとめて、発表する活動をいろいろな場面で取り入れる。
- ノート指導の充実を図る。
- パソコンやタブレット端末の活用及びNIEなど情報教育を推進する。また、情報モラルを学ぶ機会を設ける。
- 漢字や計算ドリルなどを継続的に積み重ねる。
- ④ 安全・安心な学校づくりのために
 - ◎防災教育（地震・津波）を指導計画にもとづいて、すべての学年で実践し、自らの命を守ることのできる児童を育てる。
 - ◎地域安全マップ作りなど安全に関する学習を積極的に導入し、登下校時における危機回避行動がとれるようにする。
 - ライフジャケットを活用した避難訓練や救命訓練（サヴァイヴァルスイミング教室）を計画的に行う。
 - メールによる保護者への連絡システムを活用し、速やかな情報共有・危機管理に努める。
 - 保護者や地域と連携しつつ、計画的・実践的な指導により、安全指導の徹底を図る。
 - 災害発生時の危機管理や職員配備体制などのマニュアルを随時見直し、防災体制の強化を図る。
 - 保護者や地域の関係機関との連携を緊密に行う。
 - いろいろな場面を想定した避難訓練（地震、津波、火災、不審者侵入）を計画的に実施する。登下校時における避難訓練を計画し、実施する。
 - 校内安全点検、通学路安全点検などを定期的に実施する。
- ⑤ 機動力のある学校運営のために
 - ◎明るく活気のある職場づくりのため、折々に楽しい企画をしてモラルアップに努める。
 - ◎週案の「改善」コーナーを活用するなどどうすればよくなるかを「常に考える」集団を目指す。
 - 高校との連携（高校教員による特別授業の実施、他）など研修機会の拡大を図る。
 - 児童の思いを取り入れた学校運営に努める。
 - 若手教員研修チームが中心となって若手教員の授業研究を行い、指導力の向上に努める。
 - 2つの班を中心に意見交換を大切にしながら、チームとして主な校務を推進し、効率化を図る。
 - ◇学習指導推進班～学力向上、評価などを担当し、学力向上推進、特別支援教育、学校人権教育などの推進委員会業務も行う。
 - ◇心と体の教育推進班～健康、安全、生徒指導、教育相談などを担当し、生徒指導、学校保健、体力向上推進、道徳教育推進などの推進委員会業務も行う。
 - 積極的な情報発信に努める。学校だよりや学年だより、HP等を通じて、経営方針やその具体化、実践の様子などを積極的に伝える。
 - 職員との面談や対話を重視し、個人目標設定をした新たな目標申告シートや職務発揮シートを活用し、やる気と連帯感の醸成に努める
 - ノー残業デーの実施や休暇取得促進など勤務時間の適正化や職員のメンタルヘルスを進める。
 - 「校長室より」を通して、職員に教育情報を提供し、共有化を図る